

鶴見区区政会議 令和3年度第1回地域保健福祉会議事録（要旨）

1 日 時 令和3年12月14日（火） 19時00分～19時51分

2 場 所 鶴見区役所 4階402会議室

3 出席者

（委員）

桑名委員、寺井委員、南畑委員、宮原委員、綿世委員

（区役所）

丹葉保健福祉課長、浅田子育て支援・保健担当課長、柏木生活支援担当課長、大川市民協働課長代理、日下福祉担当課長代理、後藤保健担当課長代理、菅野保健副主幹、當麻保健福祉課担当係長、広川保健福祉課担当係長、大田保健福祉課担当係長、辻岡市民協働課担当係長兼保健福祉課担当係長、野上市民協働課担当係長、天谷保健福祉課担当係長、谷口保健福祉課担当係長、貴田政策推進担当課長、木村政策推進担当課長代理

4 議題

- （1） 令和4年度鶴見区運営方針（素案）について
- （2） 令和4年度鶴見区運営方針（たたき台）にかかる意見とその対応について

5 議事

- （1） 部会長・副部会長の選任

部会長：桑名委員、副部会長：綿世委員が選任された。

- （2） 令和4年度鶴見区運営方針（素案）について概要版により説明

経営課題1「だれもが地域で安心して暮らせるまちづくり」

①地域福祉力の向上

②認知症への理解を深めるための取組

③健康増進意識の向上

▶ 委員からの意見・要望等

- ③に関して、以前地域で調理実習をしてくれていたが、また実施してほしい。
⇒コロナの影響で最近の2年間はできていない。地域の受け入れの差もあるが、今後は様子を見ながら地域にお願いしていきたい。

経営課題5「地域活動協議会による自律的な地域運営の促進」

▶ 委員からの意見・要望等

- 老人会だが、各クラブの会長が辞めると新たに会長になる人がいないので、そのクラブは解散になるケースが多い。定年退職後のアンケートの内容を聞きたい。

⇒昨年度 62 歳と 63 歳の方全員にアンケートを実施した。地域の活動への参加の有無や、町会への加入の有無などを聞き、結果を各地域に情報提供している。

- 不動産団体と連携してとあるが、どの程度網羅されているのか。
⇒市民局が 2 つの不動産団体と「自治会・町内会への加入促進に関する協力協定」を締結している。全ての不動産会社等ではない。
- 大阪市全体の町会の加入率と鶴見区の加入率を聞きたい。鶴見区は高い方だと聞いているが、町会の加入にある程度の強制力を持たず検討が必要だと思う。
⇒全体の数字は今、持ち合わせていない。鶴見区は約 73%程度。強制力は難しいと考えるが、魅力を発信していくことは必要だと思っている。
- 町会を離れていく人も多い、メリットを感じてもらえない。我々も地域から頑張るが行政からのサポートもお願いし、一緒にやっていきたい。難しいことはわかっている。また、地活協の母体は地域振興会であり、役員を出している。バランスよく進めてもらいたい。
⇒地域活動協議会の主たる担い手は地域振興会であることは認識している。また、担い手の発掘は大きな課題であり、お互いに情報共有しながら加入促進を考えていきたい。

(3) 令和 4 年度鶴見区運営方針（たたき台）にかかる意見とその対応について説明

- 委員等からの意見・要望等
とくに無し

(4) 議員からの助言

- 黒田議員
- 大橋議員

(5) その他

- 委員等からの意見・要望等
 - この部会の開始時間を早く（18:00 や 18:30）できないか、検討してもらいたい。